



運用報告書（全体版）第19期（2019年1月1日～2019年12月31日）

**バンガード®・インデックス・ファンズ -  
バンガード・米国エクステンデッド・マーケット・インデックス・ファンド**  
Vanguard Index Funds -  
Vanguard Extended Market Index Fund

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託  
米国デラウェア籍法定トラスト ETF クラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、バンガード・インデックス・ファンズ - バンガード・米国エクステンデッド・マーケット・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第19期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

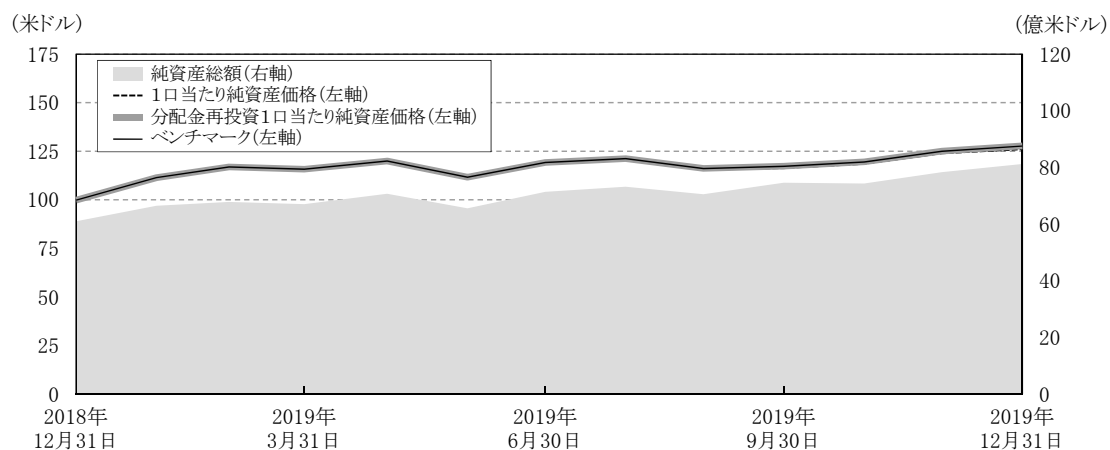
ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、中小銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、米国中型企業株・小型企業株の幅広く分散したインデックスである S&P コンプリーション指数（S&P Completion Index）のパフォーマンスへの一致を企図したインデックス投資手法を用います。S&P コンプリーション指数はニューヨーク株式市場およびナスダック店頭市場にて通常取引される米国普通株式（S&P500 指数に含まれる株式を除きます。）の全てを含みます。ファンドは、インデックスを参照し、主要な特性について、全体としてインデックス総体に類似する広範囲に分散された証券を保有します。かかる主要な特性には、産業別比重と時価総額、および株価収益率、配当利回り等の一定の財務数値が含まれます。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資方針に従わなくてはなりません。基本的投資方針はファンドの受益証券の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、①ファンドの純資産の50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンドの純資産の67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または②ファンドの純資産の50%

	<p>以上を表象する受益証券のいずれか少ない方をいいます。</p> <p>(i) 借入れ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する米国証券取引委員会（SEC）もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、借入れを行うことができます。</p> <p>(ii) コモディティ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、コモディティへの投資を行うことができます。</p> <p>(iii) 分散 ファンドの総資産の 75%について、ファンドは、①いずれか単一発行体の発行済議決権付証券の 10%以上を購入すること、②結果的にファンドの総資産の 5%以上が当該発行体の証券に投資されることとなるような場合に、当該発行体の証券を購入することはできません。本制限は、米国政府またはその機関もしくは下部組織の債務には適用されません。</p> <p>(iv) 同一業種への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 投資目的 ファンドの投資目的を、受益者の決議を得ずに大幅に変更することはできません。</p> <p>(vi) 貸付け ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、他の者への貸付けを行うことができます。</p> <p>(vii) 不動産 ファンドは、証券その他の金融商品を保有する結果として取得される場合を除き、不動産に直接投資することはできません。この制限は、ファンドが (1) 不動産への投資、取引もしくは別の方法で不動産取引に携わる会社が発行する、または (2) 不動産もしくは不動産の持分により裏付けられもしくは担保される、証券その他の金融商品に投資することを妨げません。</p> <p>(viii) 優先証券 ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合を除き、優先証券を発行することはできません。</p> <p>(ix) 引受け ポートフォリオ証券の売買に関連し、ファンドが米国 1933 年証券法上の意味における引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
分配方針	<p>ファンドは、受益者に対して、純インカム所得（利息および分配から費用を控除した額）および保有する資産の売却によって実現した短期または長期の純キャピタル・ゲインの実質的全額を分配します。ファンドのインカム分配は通常、3 月、6 月、9 月および 12 月の四半期毎に行われます。キャピタル・ゲインの分配（もしあれば）は通常毎年 12 月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p>

## I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

### (1) 運用の経過

#### ① 1口当たり純資産価格の推移等



- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第18期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。
- (注4) ファンドのベンチマークは、S&Pコンプライション指数です。
- (注5) ベンチマークは、第18期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・米国エクステンデッド・マーケット・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー:VXF)は、「バンガード・米国エクステンデッド・マーケットETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります。

**2018年12月31日から2019年12月31日までのファンドのパフォーマンス**

	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	99.77 米ドル	126.02 米ドル	1.641 米ドル	0.000 米ドル

**2019年12月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン**

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドル に対する最終価格
ファンド 純資産価格	28.04%	9.02%	12.81%	33,382 米ドル
ファンド 市場価格	28.06	9.02	12.81	33,394
ベンチマーク	27.95	8.90	12.71	33,085
ダウ・ジョーンズ US トータル・ス トック・マーケット浮動調整指数	30.90	11.18	13.43	35,251

(注1) トータルリターンは、表示通貨（米ドル）建ての純資産価格に基づき計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時（通常、米国東部標準時間午後4時）の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

② 分配金について

当期（2019年1月1日～2019年12月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 （対1口当たり純資産 価格比率 <sup>（注1）</sup> ）	分配金を含む1口当 たり純資産価格の変 動額 <sup>（注2）</sup>
2019年3月28日	114.87	0.3125 0.27%	15.63
2019年6月17日	116.19	0.2942 0.25%	1.61
2019年9月16日	119.52	0.3723 0.31%	3.70
2019年12月24日	126.29	0.6617 0.52%	7.43

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率（\%）} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されま

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

（注3）2019年3月28日の直前の分配落日（2018年12月19日）における1口当たり純資産価格は、99.55米ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- 2019年12月31日に終了した12か月間の対象ファンドのリターンは、Vanguard Mid-Cap Value Index Fundの28%間近からVanguard Mid-Cap Growth Index Fundのほぼ34%までに及びました。グロース銘柄およびバリュー銘柄の両方に投資するVanguard Mid-Cap Index Fundは、ほぼ31%のリターンとなりました。小型株および中型株の両方に投資するVanguard Extended Market Index Fundのリターンはほぼ28%でした。これらのリターンはすべてインベスター受益証券の実績です。各ファンドはそれぞれのベンチマークに密接に連動しました。
- 当期においてグロース銘柄がバリュー銘柄を上回り、大型株が中小型株を上回りました。
- 資本財は、Vanguard Mid-Cap Index FundとVanguard Mid-Cap Growth Index Fundに、金融は、Vanguard Mid-Cap Value Index Fundに、情報技術は、Vanguard Extended Market Index Fundに最も貢献しました。いずれのファンドにおいてもパフォーマンスの足枷となったセクターはありませんでした。
- Vanguard Extended Market Index Fundは世界産業分類基準（「GICS」）を使用しており、他の3ファンドは業種分類ベンチマーク（「ICB」）を使用しています。

\*上記の記述は、Vanguard Extended Market Index Fund、Vanguard Mid-Cap Index Fund、Vanguard Mid-Cap Growth Index Fund および Vanguard Mid-Cap Value Index Fund のETFクラス受益証券を含む全ての受益証券クラスについてのものです。

## (2) 今後の運用方針

ファンドは、中小銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

## (3) 費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.05%	管理的性格の業務および事業運営にかかる業務の対価	費用の料率は、2020年4月28日付英文目論見書に記載された現会計年度の見込み費用です。 2019年12月31日に終了した会計年度において、費用料率は合計0.06%でした。
12b-1 販売費用	なし	該当なし	
その他の費用	0.01%	ファンドが負担したその他の費用金額	
ファンドの年次 運営費用合計	0.06%		

## II. 運用実績

### ① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第10会計年度末 (2010年12月末日)	1,113	121,940	54.42	5,962
第11会計年度末 (2011年12月末日)	1,148	125,775	51.87	5,683
第12会計年度末 (2012年12月末日)	1,477	161,820	60.46	6,624
第13会計年度末 (2013年12月末日)	3,105	340,184	82.71	9,062
第14会計年度末 (2014年12月末日)	3,659	400,880	87.79	9,618
第15会計年度末 (2015年12月末日)	4,272	468,040	83.80	9,181
第16会計年度末 (2016年12月末日)	4,387	480,640	95.86	10,502
第17会計年度末 (2017年12月末日)	5,711	625,697	111.72	12,240
第18会計年度末 (2018年12月末日)	6,095	667,768	99.77	10,931
第19会計年度末 (2019年12月末日)	8,119	889,518	126.02	13,807

(注1) 米ドルの円貨換算は、2019年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=109.56円)によります。

(注2) ETF 受益証券の設定日は、2001年12月27日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なる円貨表示がなされている場合もあります。



② 分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第10会計年度	0.541	59
第11会計年度	0.590	65
第12会計年度	0.992	109
第13会計年度	0.940	103
第14会計年度	1.159	127
第15会計年度	1.128	124
第16会計年度	1.371	150
第17会計年度	1.395	153
第18会計年度	1.656	181
第19会計年度	1.641	180

③ 投資資産(2019年12月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2019年12月末日)

	千米ドル	日本円(千円)
総資産額(Vanguard Extended Market Index Fund 全体)	76,100,008	8,337,516,876
総負債額(Vanguard Extended Market Index Fund 全体)	1,556,441	170,523,676
純資産価額(ファンド)	8,119,074	889,525,747
発行済み受益証券総数(ファンド)	64,427,309	口
1口当たり純資産価格(ファンド)	\$126.02	¥13,807

## IV. ファンドの経理状況

### 独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard Index Funds の受託者の理事会、および Vanguard Extended Market Index Fund、Vanguard Mid-Cap Index Fund、Vanguard Mid-Cap Growth Index Fund および Vanguard Mid-Cap Value Index Fund の受益者各位

#### 財務諸表に係る意見

私どもは、添付の 2019 年 12 月 31 日現在の Vanguard Extended Market Index Fund の純資産計算書—投資サマリー、Vanguard Mid-Cap Index Fund、Vanguard Mid-Cap Growth Index Fund および Vanguard Mid-Cap Value Index Fund (これらの 4 ファンドは Vanguard Index Funds を構成し、以下総称して「ファンド」という。)の純資産計算書、2019 年 12 月 31 日に終了した年度の損益計算書、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての純資産変動計算書(関連注記を含め)、記載された期間それぞれについての財務ハイライト(以下総称して「財務諸表」という。)を監査した。私どもの意見では、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して、2019 年 12 月 31 日現在の各ファンドの財政状態、ならびに同日に終了した年度の各ファンドの運用成績、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての各ファンドの純資産の変動、記載された期間それぞれについての各ファンドの財務ハイライトをすべての重要な点において、適正に表示している。

#### 監査意見の基礎

財務諸表はファンドの経営陣が責任を負うものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてファンドの財務諸表について意見を表明することである。私どもは公開企業会計監視委員会(米国)(PCAOB)に登録された監査法人であり、米国連邦証券法および関連規則、ならびに米証券取引委員会および PCAOB の規則に準拠して、ファンドに関して独立であることを義務付けられている。

私どもは、PCAOB の基準に準拠して、これらの財務諸表の監査を実施した。これらの基準は、財務諸表に不正または誤謬による重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを求めている。

私どもの監査には、不正または誤謬による財務諸表の重大な虚偽表示リスクを評価するための手続きを実施し、かかるリスクに対処する手続きを実施することが含まれる。かかる手続きには、試査による財務諸表の金額および開示事項を裏付ける証拠の検証が含まれる。私どもの監査にはまた、経営陣が採用した会計原則および経営陣が行った重要な見積りの検討、ならびに財務諸表全体の表示に関する評価も含まれる。私どもの手続きには、カストディアンおよびブローカーに対する書面ならびに名義書換事務代行会社の所有持分の記録との照合による 2019 年 12 月 31 日現在における有価証券の確認も含まれる。ブローカーからの返答が得られない場合は、私どもは別の監査手続きを実施した。私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパース LLP  
ペンシルバニア州フィラデルフィア  
2020 年 2 月 13 日

私どもは、1975 年以降、The Vanguard Group of Funds の 1 社以上の投資会社の監査人を務めている。

## 財務諸表

### 純資産計算書－投資サマリー

2019年12月31日現在

この計算書は、ファンドの保有銘柄を資産種類ごとに要約したものである。ファンドの保有上位各 50 銘柄およびいかなる発行体に対しても総額でファンド純資産の 1%以上を占める投資に関しては詳細を報告している。それより小さな保有割合の総額は、各分類内で一つの金額として報告されている。

当ファンドは、各会計年度中 4 回にわたり、証券取引委員会(「SEC」)に保有銘柄の完全な明細表を提出している。第 2 四半期と第 4 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストを [www.vanguard.com](http://www.vanguard.com) およびフォーム N-CSR で入手することができる。また、800-662-7447 に電話すると無料で郵送してもらうことができる(訳注:日本の受益者については、適用されない)。各会計年度の第 1 四半期と第 3 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストをフォーム N-PORT の報告書の添付書類として入手することができる。ファンドのフォーム N-CSR およびフォーム N-PORT の報告書は、SEC のウェブサイト([www.sec.gov](http://www.sec.gov))で入手することができる。

	株数	市場価格* (千米ドル)	純資産に 占める割合
<b>普通株式</b>			
<b>電気通信・サービス</b>			
* Liberty Broadband Corp.	2,146,827	269,963	0.4%
* IAC/InterActiveCorp	1,029,186	256,381	0.3%
* Snap Inc.	11,146,093	182,016	0.2%
* Roku Inc.	1,298,775	173,906	0.2%
§ 電気通信・サービスーその他 †		2,652,739	3.6%
		<b>3,535,005</b>	<b>4.7%</b>
<b>一般消費財・サービス</b>			
* <sup>^</sup> Tesla Inc.	2,019,753	844,923	1.1%
* Lululemon Athletica Inc.	1,697,783	393,325	0.5%
* Burlington Stores Inc.	938,940	214,106	0.3%
Domino's Pizza Inc.	579,627	170,283	0.2%
一般消費財・サービスーその他 †		6,737,252	9.1%
		<b>8,359,889</b>	<b>11.2%</b>
<b>生活必需品 †</b>			
		<b>2,003,541</b>	<b>2.7%</b>
<b>エネルギー</b>			
* Cheniere Energy Inc.	3,285,725	200,659	0.3%
§ エネルギーーその他 †		1,635,773	2.2%
		<b>1,836,432</b>	<b>2.5%</b>
<b>金融</b>			
Blackstone Group LP	9,374,796	524,426	0.7%
* Arch Capital Group Ltd.	5,733,040	245,890	0.3%
KKR & Co. Inc. Class A	7,815,931	227,991	0.3%
* Markel Corp.	195,913	223,962	0.3%
Annaly Capital Management Inc.	20,420,421	192,360	0.3%
TD Ameritrade Holding Corp.	3,754,806	186,614	0.3%
Fidelity National Financial Inc.	3,900,513	176,888	0.2%
Ally Financial Inc.	5,385,068	164,568	0.2%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
* Alleghany Corp. 金融—その他 †	204,319	163,367	0.2%
		10,854,634	14.6%
		<b>12,960,700</b>	<b>17.4%</b>
<b>ヘルスケア</b>			
* DexCom Inc.	1,294,008	283,051	0.4%
* Veeva Systems Inc. Class A	1,868,619	262,840	0.4%
* BioMarin Pharmaceutical Inc.	2,555,074	216,032	0.3%
* Seattle Genetics Inc.	1,631,911	186,462	0.3%
* Exact Sciences Corp.	1,984,320	183,510	0.2%
* Alnylam Pharmaceuticals Inc.	1,584,597	182,498	0.2%
* West Pharmaceutical Services Inc.	1,049,923	157,835	0.2%
* Elanco Animal Health Inc.	5,314,877	156,523	0.2%
§ ヘルスケア—その他 †		8,385,904	11.2%
		<b>10,014,655</b>	<b>13.4%</b>
<b>資本財・サービス</b>			
* CoStar Group Inc.	519,476	310,802	0.4%
TransUnion	2,669,151	228,506	0.3%
* Teledyne Technologies Inc.	519,476	180,019	0.3%
§ 資本財・サービス—その他 †		9,302,870	12.5%
		<b>10,022,197</b>	<b>13.5%</b>
<b>情報技術</b>			
* Workday Inc. Class A	2,186,873	359,631	0.5%
* Palo Alto Networks Inc.	1,389,466	321,314	0.4%
* Square Inc.	4,858,576	303,953	0.4%
* Splunk Inc.	1,962,908	293,985	0.4%
Marvell Technology Group Ltd.	9,459,930	251,256	0.3%
SS&C Technologies Holdings Inc.	3,114,853	191,252	0.3%
* Paycom Software Inc.	696,050	184,286	0.3%
* Okta Inc.	1,596,517	184,190	0.3%
* RingCentral Inc. Class A	1,063,934	179,454	0.2%
* GoDaddy Inc. Class A	2,510,241	170,496	0.2%
* VMware Inc. Class A	1,117,020	169,552	0.2%
* EPAM Systems Inc.	781,837	165,875	0.2%
* Tyler Technologies Inc.	552,653	165,807	0.2%
Teradyne Inc.	2,373,913	161,877	0.2%
* Fair Isaac Corp.	411,981	154,361	0.2%
情報技術—その他 †		9,817,194	13.2%
		<b>13,074,483</b>	<b>17.5%</b>
§ 素材 †		<b>2,988,518</b>	<b>4.0%</b>
§.1 その他 †		<b>2,249</b>	<b>0.0%</b>
<b>不動産</b>			
Invitation Homes Inc.	7,628,054	228,613	0.3%
Sun Communities Inc.	1,312,624	197,025	0.3%
WP Carey Inc.	2,454,469	196,456	0.3%
Equity LifeStyle Properties Inc.	2,594,528	182,629	0.2%
VICI Properties Inc.	6,524,563	166,703	0.2%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
Medical Properties Trust Inc.	7,338,501	154,916	0.2%
不動産－その他 †		5,823,743	7.8%
		<b>6,950,085</b>	<b>9.3%</b>
<b>公益事業 †</b>		<b>2,003,413</b>	<b>2.7%</b>
<b>普通株式総額(取得原価 55,774,347 米ドル)</b>		<b>73,751,167</b>	<b>98.9%<sup>2</sup></b>
<b>優先株式(取得原価 14 米ドル) †</b>		<b>18</b>	<b>0.0%</b>

	クーポン	口数		
<b>短期現物投資</b>				
マネー・マーケット・ファンド				
<sup>3,4</sup> Vanguard Market Liquidity Fund	1.816%	21,447,682	2,144,983	2.9%
<sup>5</sup> 米国政府および政府機関債 †			<b>24,455</b>	<b>0.0%</b>
<b>短期現物投資総額(取得原価 2,169,137 米ドル)</b>			<b>2,169,438</b>	<b>2.9%<sup>2</sup></b>
<b>投資総額(取得原価 57,943,498 米ドル)</b>			<b>75,920,623</b>	<b>101.8%</b>

	金額 (千米ドル)	
<b>その他資産および負債</b>		
<b>その他資産</b>		
バンガードへの投資	3,295	
投資有価証券売却未収金	4,527	
未収収益	94,530	
受益証券発行未収金	47,076	
未収変動証拠金－先物契約	1,012	
未実現評価益－店頭スワップ契約	771	
その他資産 <sup>4,5,6</sup>	28,174	
<b>その他資産合計</b>	<b>179,385</b>	<b>0.3%</b>
<b>負債</b>		
投資有価証券購入未払金	(26,674)	
貸付有価証券にかかる担保	(1,370,243)	
受益証券償還未払金	(141,143)	
バンガードへの未払金	(15,267)	
未実現評価損－店頭スワップ契約	(3,114)	
<b>負債合計</b>	<b>(1,556,441)</b>	<b>(2.1%)</b>
<b>純資産</b>	<b>74,543,567</b>	<b>100.0%</b>

2019年12月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	57,811,135	6,333,788
分配可能利益(損失)総額	16,732,432	1,833,205
<b>純資産</b>	<b>74,543,567</b>	<b>8,166,993</b>
<b>インベスター受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 4,756,522 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	455,025	49,853
1 口当たり純資産価格－インベスター受益証券	\$95.66	¥10,481
<b>ETF 受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 64,427,309 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	8,119,074	889,526
1 口当たり純資産価格－ETF 受益証券	\$126.02	¥13,807
<b>アドミラル受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 234,187,479 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	22,390,611	2,453,115
1 口当たり純資産価格－アドミラル受益証券	\$95.61	¥10,475
<b>インスティテューショナル受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 156,130,842 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	14,926,824	1,635,383
1 口当たり純資産価格－インスティテューショナル受益証券	\$95.60	¥10,474
<b>インスティテューショナル・プラス受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 40,206,004 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	9,486,140	1,039,301
1 口当たり純資産価格－インスティテューショナル・プラス受益証券	\$235.94	¥25,850
<b>インスティテューショナル・セレクト受益証券－純資産</b>		
発行済み受益証券 124,754,449 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	19,165,893	2,099,815
1 口当たり純資産価格－インスティテューショナル・セレクト受益証券	\$153.63	¥16,832

• 財務諸表の注記 A を参照。

\* 配当を出さない有価証券。

§ 当ファンドの有価証券の一部は、重要な観察不能なインプットを用いて評価されている。

^ ブローカー／ディーラーに貸し付けられている証券ポジションの一部を含む。貸付有価証券の時価総額は 1,286,160,000 米ドルである。

† 保有上位 50 銘柄に含まれず、またいかなる発行体に対しても全体で純資産の 1% 以下である有価証券の総額を区分ごとに表示したものである。

- 1 「その他」は、ファンドのベンチマークによって分類されていない有価証券を表す。
  - 2 当ファンドは、現金準備高の一部をインデックス先物契約およびスワップ契約を用いて株式市場に投資している。先物およびスワップ投資の影響を考慮すれば、当ファンドの実質的な普通株式と短期現物投資のポジションは、純資産のそれぞれ 100.0%および 1.8%である。
  - 3 バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは 7 日間の利回りである。
  - 4 貸付有価証券にかかる受取担保額は 1,370,243,000 米ドルで、このうち 1,358,552,000 米ドルを Vanguard Market Liquidity Fund で保有、11,691,000 米ドルを現金で保有している。
  - 5 未決済先物契約の当初証拠金として分別管理された有価証券は 24,453,000 米ドル、現金は 1,693,000 米ドルである。
  - 6 未決済店頭スワップ契約の担保として分別管理された現金は 2,820,000 米ドルである。
- OTC-店頭

#### 期末現在未決済のデリバティブ金融商品

先物契約				
	満期	ロング(ショート) 契約数	想定元本	(千米ドル) 価値および 未実現評価益 (評価損)
買建先物契約				
E-mini ラッセル 2000 指数	2020年3月	4,470	373,379	5,821
E-mini S&P ミッドキャップ 400 指数	2020年3月	973	200,905	3,447
E-mini S&P 500 指数	2020年3月	870	140,553	299
				9,567

#### 店頭トータル・リターン・スワップ

参照企業	満期日	カウンター パーティー	想定元本 (千米ドル)	受取(支払) 変動金利 <sup>1</sup> (%)	価値および 未実現 評価益 (千米ドル)	価値および 未実現 評価損 (千米ドル)
Splunk Inc.	9/2/20	BOANA	32,828	(1.697)	77	—
Twilio Inc. Class A	9/2/20	BOANA	20,656	(1.697)	—	(1,027)
Wayfair Inc.	9/2/20	BOANA	11,040	(1.697)	694	—
Workday Inc. Class A	9/2/20	BOANA	25,077	(1.697)	—	(2,087)
					771	(3,114)

1 月間受取額／支払額。

BOANA—Bank of America, N.A.

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

## 損益計算書

2019年12月31日に  
終了した年度

	(千米ドル)	(百万円)
<b>投資収益</b>		
<b>収益</b>		
配当金	916,627	100,426
利息 <sup>1</sup>	14,783	1,620
貸付有価証券、純額	71,028	7,782
収益総額	1,002,438	109,827
<b>費用</b>		
バンガード・グループ—注記 B		
投資顧問サービス	4,282	469
マネジメントおよび管理—インベスター受益証券	1,502	165
マネジメントおよび管理—ETF 受益証券	3,125	342
マネジメントおよび管理—アドミラル受益証券	9,607	1,053
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル受益証券	5,483	601
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル・プラス受益証券	2,612	286
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル・セレクト受益証券	2,115	232
マーケティングおよび販売—インベスター受益証券	89	10
マーケティングおよび販売—ETF 受益証券	423	46
マーケティングおよび販売—アドミラル受益証券	1,096	120
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル受益証券	456	50
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル・プラス受益証券	135	15
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル・セレクト受益証券	1	0
カストディー報酬	825	90
監査報酬	51	6
受益者報告—インベスター受益証券	11	1
受益者報告—ETF 受益証券	211	23
受益者報告—アドミラル受益証券	158	17
受益者報告—インスティテューショナル受益証券	173	19
受益者報告—インスティテューショナル・プラス受益証券	127	14
受益者報告—インスティテューショナル・セレクト受益証券	—	—
受託者報酬および費用	34	4
費用総額	32,516	3,562
<b>純投資収益</b>	<b>969,922</b>	<b>106,265</b>
<b>純実現利益(損失)</b>		
売却投資有価証券 <sup>1,2</sup>	3,398,924	372,386
先物契約	107,122	11,736
スワップ契約	21	2
<b>純実現利益(損失)</b>	<b>3,506,067</b>	<b>384,125</b>
<b>未実現評価益(評価損)の変動</b>		
投資有価証券 <sup>1</sup>	12,029,048	1,317,902
先物契約	30,770	3,371
スワップ契約	(1,915)	(210)
<b>未実現評価益(評価損)の変動</b>	<b>12,057,903</b>	<b>1,321,064</b>
<b>運用による純資産の純増加(減少)額</b>	<b>16,533,892</b>	<b>1,811,453</b>



- 1 当ファンドの関連会社からの利息収益、純実現利益(損失)および未実現評価益(評価損)の変動は、それぞれ14,113,000米ドル、121,000米ドルおよび146,000米ドルであった。購入および売却は短期現物投資目的である。
- 2 現物償還による純利益(損失)3,942,264,000米ドルが含まれる。この利益(損失)は当ファンドの課税対象ではない。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

## 純資産変動計算書

	2019年12月31日に 終了した年度		2018年12月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)	(千米ドル)	(百万円)
<b>純資産の増加(減少)</b>				
<b>運用</b>				
純投資収益	969,922	106,265	990,935	108,567
純実現利益(損失)	3,506,067	384,125	4,294,578	470,514
未実現評価益(評価損)の変動	12,057,903	1,321,064	(11,280,180)	(1,235,857)
運用による純資産の純増加(減少)額	16,533,892	1,811,453	(5,994,667)	(656,776)
<b>分配</b>				
純投資収益				
インベスター受益証券	(8,928)	(978)	(18,718)	(2,051)
ETF 受益証券	(101,363)	(11,105)	(91,752)	(10,052)
アドミラル受益証券	(291,203)	(31,904)	(290,795)	(31,860)
インスティテューショナル受益証券	(199,592)	(21,867)	(206,007)	(22,570)
インスティテューショナル・プラス受益証券	(129,133)	(14,148)	(130,677)	(14,317)
インスティテューショナル・セレクト受益証券	(248,571)	(27,233)	(216,956)	(23,770)
実現キャピタルゲイン				
インベスター受益証券	—	—	—	—
ETF 受益証券	—	—	—	—
アドミラル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル・プラス受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル・セレクト受益証券	—	—	—	—
分配総額	(978,790)	(107,236)	(954,905)	(104,619)
<b>資本持分取引</b>				
インベスター受益証券	(933,720)	(102,298)	(277,722)	(30,427)
ETF 受益証券	399,255	43,742	1,100,016	120,518
アドミラル受益証券	122,765	13,450	39,131	4,287
インスティテューショナル受益証券	(740,441)	(81,123)	624,848	68,458
インスティテューショナル・プラス受益証券	(97,548)	(10,687)	(2,181,914)	(239,050)
インスティテューショナル・セレクト受益証券	1,967,463	215,555	2,770,352	303,520
資本持分取引による純増加(減少)額	717,774	78,639	2,074,711	227,305
増加(減少)総額	16,272,876	1,782,856	(4,874,861)	(534,090)
<b>純資産</b>				
期首	58,270,691	6,384,137	63,145,552	6,918,227
期末	74,543,567	8,166,993	58,270,691	6,384,137

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

## 財務諸表注記

Vanguard Extended Market Index Fund は、1940年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、インベスター受益証券、ETF 受益証券、アドミラル受益証券、インスティテューショナル受益証券、インスティテューショナル・プラス受益証券、インスティテューショナル・セレクト受益証券の6種類のクラスを提供している。受益証券の各クラスの適格基準および最低購入条件は異なり、様々な種類の投資者向けに設計されている。ETF 受益証券は、NYSE Arca に上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。

- A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社に適用される一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠している。当ファンドは財務諸表作成の際にこれら会計方針を継続的に適用している。
1. 有価証券の評価: 有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値(通常東部時間の午後4時)で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定時前で有価証券が主に取引されている市場の終了後に生じた事象により価格が大きく影響された有価証券については、受託者の理事会により公正価値を表すとみなされた方法で評価される。Vanguard Market Liquidity Fund に対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。短期現物投資は、直近の買値、または(有価証券の価格、利回り、満期および格付等の要素を考慮した)マトリクス・システムの評価に基づき評価される。どちらの評価方法も、独立した価格提供者により提供されている。
  2. 先物契約: 当ファンドは、一定の範囲内において、指数先物契約を活用する。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化するという目的のために行われる。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入したり、資金流出への対応として先物を売却したりすることがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とするインデックスに対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約を利用することに伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じることであり、また市場が非流動的になる可能性である。先物に伴うカウンターパーティー・リスクは、決済ブローカーではなく規制された決済機関がカウンターパーティーであるために緩和される。さらにカウンターパーティー・リスクを緩和するために、当ファンドは取引所で先物契約を取引し、決済ブローカーや決済機関の財務の健全性を監視し、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行の保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを義務付けている。未決済契約について当初証拠金として差し入れられている資産は、純資産計算書において注記されている。  
先物契約は、日次の決済引値で評価される。契約の名目元本は、純資産計算書上に記載されない。契約の価値の変動は、実現先物利益(損失)として計上されている場合、契約解消までは純資産計算書においては資産(負債)として、損益計算書においては未実現評価益(評価損)として計上されている。  
2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の名目元本の平均によれば、ファンドの買建て、売建ての先物契約への投資は平均して、それぞれ純資産の1%未満および0%であった。

3. スワップ契約:当ファンドはファンドの目標指数に含まれる選定された参照銘柄について、トータルリターンを得るために株式スワップ契約を締結している。スワップ契約の条件に基づき、当ファンドは規定された期間にわたって、選定された参照銘柄の指定された株数の、当該株式スワップの開始時点の価値である想定元本に適用される当該参照銘柄にかかるトータルリターンを受け取る(すなわち、選定された参照銘柄の価値の増加を受け取り、価値の減少を支払うことに加えて、当該選定された参照銘柄の配当相当額を受け取る)。当ファンドは、また、短期金利に基づいた変動金利を想定元本に適用した利息を支払う。同時に、当ファンドはスワップの想定元本に概ね等しい額を高格付の短期現物投資に投資する。
- スワップ契約の想定元本は、純資産計算書上に記載されない。スワップは、独立した価格提供者または一般に認められているディーラーより提供される市場相場に基づいて日次で評価され、価値の変動は、純資産計算書上に資産(負債)として記載される。また、損益計算書上、スワップが終了するまでは未実現評価益(評価損)として、終了時には実現利益(損失)として記載される。
- すべての種類のスワップに伴うリスクは、カウンターパーティーが当ファンドに対して正味金額を支払う義務の履行を怠る可能性である。当ファンドの、カウンターパーティー・リスクの対象となる最大金額は、当該スワップ契約にかかる未実現評価益である。当ファンドは、スワップ契約を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター・ネットイング・アグリーメントを締結し、カウンターパーティーにその契約履行を保証するための担保の差入れを求めることで、カウンターパーティー・リスクを軽減している。債務不履行がない場合、ファンドが差し入れたあるいは受け入れた担保は、再担保、転売または二重担保とすることはできない。カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは当該カウンターパーティーとのあらゆるスワップ契約を終了し、マスター・ネットイング・アグリーメントに従っていずれかの当事者の未払債務金額を決定し、マスター・ネットイング・アグリーメントに基づいて、当ファンドに対する未払いの純額を上限に、保有する担保を売却するか留保することができる。スワップ契約には、当ファンドの純資産が一定水準を下回った場合に、カウンターパーティーが未決済契約を解約することを認め、解約時に当ファンドが純負債ポジションにあった場合にファンドによる支払いを引き起こす条項が含まれている。この支払額は、当ファンドが差し入れている担保の部分だけ減額されることになる。未決済契約について担保として差し入れられている有価証券は、純資産計算書において注記されている。授受された担保の評価額は、各カウンターパーティーとのスワップ契約エクスポージャーの額と日次で比較され、差異が規定されている最低授受額を超過した場合、調整が行われ、2営業日以内に決済される。
- 2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の想定元本の平均によれば、当ファンドのトータル・リターン・スワップ投資の平均金額は、純資産の1%未満であった。
4. 連邦所得税:当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、すべての課税所得を分配することを意図している。経営陣は、未確定のすべての課税年度(2016年12月31日から2019年12月31日)の連邦所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。

5. 分配: 受益者に対する分配は、分配落ち日に記録される。分配金額は税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。
6. 貸付有価証券: 当ファンドは、追加収益を得るために、適格機関投資家に有価証券を貸し付ける。有価証券の貸付は、随時ファンドによる解約が可能で、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同等の金額の担保によって常に保全されることが求められる。日々の市場の変動により、貸付有価証券の価値が受け取った担保金額を上回ったり下回ったりすることになる。この場合、担保は調整され、翌営業日の取引開始前に決済される。当ファンドは、証券貸付取引を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループに限り行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター証券貸付契約を締結することで、カウンターパーティー・リスクをさらに緩和している。マスター証券貸付契約に基づき、カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは借り手との融資を終了し、未払金額を決定し、当ファンドに対する未払いの純額を上限に担保を売却するか留保することができる。ただし、かかる行為は法的手続きを条件とする。担保はカウンターパーティー・リスクを緩和するが、債務不履行が生じた場合、当ファンドには貸付証券の回収において遅延や費用が生じることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保を Vanguard Market Liquidity Fund に投資し、担保の返済について純資産計算書上に負債を計上している。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表している。貸付期間中、ファンドは貸し付けた有価証券に対してまたは関連して行われたすべての分配金に対して権利を有する。
7. 借入枠: 当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が管理する特定のその他のファンドは、シンジケート団が毎年更新することができる与信契約に従って提供する 43 億米ドルのコミットメント・ラインに参加しており、当該借入枠の下で借入を行った場合は、各ファンドはその借入に対して個別に責任を負う。借入は、一時的資金および緊急時資金の調達目的に利用される場合があり、当ファンドの規制上および契約による借入の制約を受ける。借入枠に参加するファンドに対しては、管理手数料および借入枠の未使用額の 0.10% に相当する年間コミットメント・フィーが賦課され、これらの手数料は、ファンドの受託者の理事会が承認した方法でファンドに配分され、ファンドの損益計算書のマネジメントおよび管理費用に含まれる。この借入枠の下での借入には、1 か月物のロンドン銀行間取引金利、実効フェデラルファンド金利または翌日物銀行調達金利のいずれか高い方に、合意されたスプレッドを上乗せした金利が適用される。2019 年 12 月 31 日現在および同日に終了した会計年度のいずれの時点においても、当ファンドには借入残高はなかった。
8. その他: 配当金収益は、配当落ち日に計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fund から受領した利益分配を含み、日次で計上される。負債証券のプレミアムとディスカウントは、個々の証券の残存年数にわたり、それぞれ利息収益について償却および増額の処理を行う。ただし、直近の繰上償還日に償却される特定のコーラブル負債証券のプレミアムは除く。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却にかかる実現利益(損失)を決定するために用いられる原価は、売却された個別有価証券の原価である。各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)および受益者報告にかかる一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者の理事会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資にかかる損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。

- B. バンガードとファンドの間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスを FSA における定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者の理事会が承認した方法および指針に基づきファンドに賦課される。バンガードは、一定の運営実費(繰延報酬/給付金およびリスク/保険費用等)については当該期に支払を求めず、これらの運営実費に対するファンドの負債は、純資産計算書上でバンガードへの未払金に含まれている。バンガードに対して未払いのすべての他の運営実費は、通常、月 2 回決済されている。バンガードからの要請に応じて、ファンドは純資産の 0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2019 年 12 月 31 日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して 3,295,000 米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の 0.01%未満および FSA に従って受領したバンガードの資本の 1.32%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれバンガードの取締役および従業員も兼務している。
- C. 様々なインプットを用いて当ファンドの投資有価証券の価値を決定することがある。こうしたインプットは、財務諸表目的において広く 3 つの階層に要約される。有価証券を評価するのに使われるインプットまたは手法が、必ずしもこうした証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。
- レベル 1— 活発な市場での同一の有価証券の取引価格
- レベル 2— その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスクを含む)
- レベル 3— 重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットで評価されている投資は、純資産計算書において記載されている。

以下の表は、2019 年 12 月 31 日現在の当ファンドの投資有価証券およびデリバティブの市場価格を、評価に用いたインプットに基づき要約したものである。

(千米ドル)

投資有価証券	レベル 1	レベル 2	レベル 3
普通株式	73,749,668	65	1,434
優先株式	18	—	—
短期現物投資	2,144,983	24,455	—
先物契約—資産 <sup>1</sup>	1,012	—	—
スワップ契約—資産	—	771	—
スワップ契約—負債	—	(3,114)	—
合計	75,895,681	22,177	1,434

<sup>1</sup> 報告期間の最終日における変動証拠金を表す。

- D. 純資産の簿価ベースと税務ベースの構成要素の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で再分類される。これらの再分類は、純資産または 1 口あたり純資産に影響を及ぼさない。期末現在、主に現物償還、受動的外国投資会社、およびスワップ契約の会計を要因とする永久差異は、以下の勘定間で再分類されている。

(千米ドル)

	金額
払込資本金	3,942,264
分配可能利益(損失)総額	(3,942,264)

分配可能利益(損失)総額の簿価ベースと税務ベースの構成要素の一時的差異は、収益、利益または損失の特定の項目が、財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生する。したがって、これらの一時的差異は、将来のいずれかの時期に解消される。差異は、主に値洗いにおける損失の税務上の繰り延べ、一部の先物契約およびスワップ契約における未実現利益または損失の実現、ならびに受動的外国投資会社の未実現利益に関連する。期末現在、分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素は以下のとおりである。

(千米ドル)

	金額
未分配の通常所得	32,340
未分配の長期利益	—
繰越キャピタルロス(相殺期限なし)	(1,247,223)
純未実現利益(損失)	17,960,848

2019年12月31日現在、投資有価証券およびデリバティブの米連邦所得税目的の原価に基づく未実現評価益(評価損)の総額は、以下のとおりであった。

(千米ドル)

	金額
税務上の原価	57,959,775
未実現評価益総額	24,219,621
未実現評価損総額	(6,258,773)
純未実現評価益(評価損)	17,960,848

- E. 2019年12月31日に終了した年度中に、当ファンドが購入した短期現物投資以外の投資有価証券は16,631,403,000米ドル、売却額は15,823,552,000米ドルである。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ、7,165,619,000米ドルおよび7,177,700,000米ドルが含まれる。

F. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下の通りであった。

	2019年12月31日に 終了した年度		2018年12月31日に 終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
<b>インベスター受益証券</b>				
発行	238,416	2,595	199,854	2,271
現金分配に代えて発行	8,707	97	17,999	211
買戻し <sup>1</sup>	(1,180,843)	(12,972)	(495,575)	(5,703)
純増加(減少)額—インベスター受益証券	(933,720)	(10,280)	(277,722)	(3,221)
<b>ETF 受益証券</b>				
発行	7,615,450	64,286	7,647,925	66,519
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	(7,216,195)	(60,950)	(6,547,909)	(56,550)
純増加(減少)額—ETF 受益証券	399,255	3,336	1,100,016	9,969
<b>アドミラル受益証券</b>				
発行 <sup>1</sup>	3,375,088	37,971	3,351,183	38,683
現金分配に代えて発行	246,482	2,706	249,801	2,937
買戻し	(3,498,805)	(39,580)	(3,561,853)	(41,092)
純増加(減少)額—アドミラル受益証券	122,765	1,097	39,131	528
<b>インスティテューショナル受益証券</b>				
発行	2,265,538	25,810	3,478,254	39,801
現金分配に代えて発行	189,780	2,085	196,518	2,311
買戻し	(3,195,759)	(36,156)	(3,049,924)	(35,344)
純増加(減少)額—インスティテューショナル受益証券	(740,441)	(8,261)	624,848	6,768
<b>インスティテューショナル・プラス受益証券</b>				
発行	2,145,116	9,842	4,078,076	19,134
現金分配に代えて発行	123,576	550	124,757	595
買戻し	(2,366,240)	(10,652)	(6,384,747)	(29,774)
純増加(減少)額—インスティテューショナル・プラス受益証券	(97,548)	(260)	(2,181,914)	(10,045)
<b>インスティテューショナル・セレクト受益証券</b>				
発行	3,238,408	23,556	3,470,354	25,181
現金分配に代えて発行	248,571	1,696	216,956	1,590
買戻し	(1,519,516)	(10,585)	(916,958)	(6,630)
純増加(減少)額—インスティテューショナル・セレクト受益証券	1,967,463	14,667	2,770,352	20,141

1 2018年11月、当ファンドはインベスター受益証券およびアドミラル受益証券の購入可能度ならびに最低購入基準の変更を発表した。その結果、すべての発行済みインベスター受益証券は、2019年4月から自動的にアドミラル受益証券に転換された。ただし、バンガード・ファンドおよび一部の他の機関投資家の保有分を除く。2019年12月31日に終了した年度の転換によるインベスター受益証券の買戻し、アドミラル受益証券の発行は、それぞれ8,887,000口、8,891,000口で、金額は806,344,000米ドルであった。

G. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2019年12月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。